

---

# 年 報

令和2年度 (2020)

---

# I 博物館の運営

## 1 沿革—総合博物館から歴史博物館へ—

年	事項
昭和46年(1971)	旧高田市が市制60周年記念事業として建設
昭和47年(1972)	4月1日、上越市立総合博物館条例施行 4月5日、開館。スキー、考古、歴史、民俗、自然科学5部門の資料収集・展示。 上越市立総合博物館協議会条例制定 施設概要 延べ1279㎡、総工費約1億3,300万円
昭和62年(1987)	4月1日、「上越市立総合博物館協議会条例」と「上越市立水族博物館協議会条例」が廃止、「上越市博物館協議会条例」を制定し、両館を統合した博物館協議会を設置。
平成4年(1992)	日本スキー発祥記念館条例施行 日本スキー発祥記念館開館に伴い、スキー資料を移管
平成12年(2000)	7月、増改築工事開始 新館増築およびラウンジ等改修
平成13年(2001)	9月29日、リニューアルオープン。考古、歴史、民俗、美術4部門の資料収集・展示。 *新館に小林古径記念美術館を併設
平成17年(2005)	1月1日、14市町村合併（上越市、安塚町、浦川原村、大島村、牧村、柿崎町、大潟町、頸城村、吉川町、中郷村、板倉町、清里村、三和村、名立町）に伴い、各町村の郷土資料館および所蔵資料を移管。 平成22年度から牧区、頸城区を除く各区民俗資料を黒岩拠点収蔵施設（柿崎区）岡沢拠点収蔵施設（中郷区）への資料移動事業開始（平成30年度終了）
平成25年(2013)	都市再生整備計画に記載、空調設備工事
平成26年(2014)	改修工事及び常設展示に関する検討
平成27年(2015)	プロポーザルによる基本設計業者選定。基本設計は(株)乃村工藝社。
平成28年(2016)	実施設計、工事契約、改修工事（久保田・大栄JV） 4月1日、日本スキー発祥記念館が上越市文化振興課から移管。 11月から増改築工事のため休館
平成29年(2017)	改修工事
平成30年(2018)	3月31日、竣工。 4月1日、総合博物館美術部門資料を小林古径記念美術館に移管。 7月21日、上越市立歴史博物館開館 8月、上越市立水族博物館所蔵重要有形民俗文化財「どぶね」移管。 開館記念展として「榊原康政の遺宝」、「川上善兵衛展」を開催。
令和2年(2020)	高田城三重櫓が上越市文化振興課から移管。
令和3年(2021)	黒岩拠点収蔵施設資料を岡沢拠点収蔵施設に移動

## 2 施設概要



- (1) 名称 上越市立歴史博物館
- (2) 所在地 新潟県上越市本城町7-7（高田城址公園内）
- (3) 建築構造 鉄筋コンクリート構造、本館地上2階 新館地上3階
- (4) 面積 敷地面積 8313.98 m<sup>2</sup>  
延床面積 2570.53 m<sup>2</sup>

### 【主要施設面積】

区画	用途	床面積 (m <sup>2</sup> )
展示室	常設展示室	564.64
	企画展示室1	111.31
	企画展示室2	96.01
	講堂・企画展示室3	106.44
収蔵庫	収蔵庫1・2	296.81
研究	資料整理室・書庫	111.90
	研究室	15.21
	閲覧室	25.34
共用	カフェ・ショップ	116.76
	ラウンジ	162.22
	エントランスロビー	61.86
	授乳室	2.63
	ロッカー室	2.70
	屋上展望デッキ	170.00

（5）設計及び開館年月日

- ・総合博物館建築・開館 昭和47年（1972）4月5日  
設計 （株）石本建築事務所
- ・新館建築・開館 平成13年（2001）9月29日  
設計 （株）ブラハマ・アソシエイツ都市建築研究所
- ・歴史博物館改修・開館 平成30年（2018）7月20日  
設計 （株）乃村工藝社

（6）総合博物館改修工事事業費内訳（平成27年度から平成29年度）

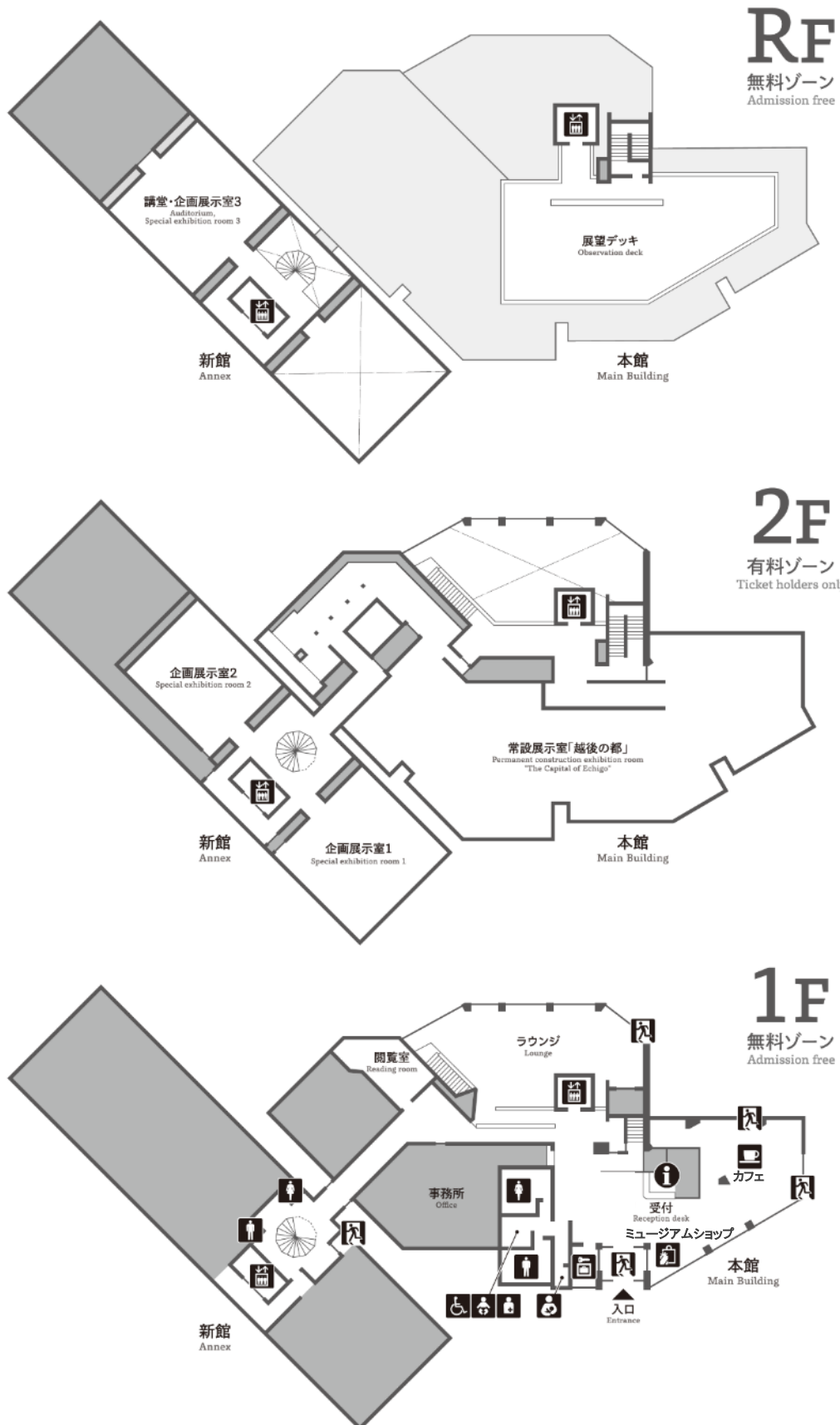
【歳入】 (千円)

区分	No.	項目	事業費
歳入	1	国庫支出金（社会資本整備総合交付金）	231,097
	2	市債	255,500
	3	一般財源	44,892
計			531,489

【歳出】 (千円)

区分	No.	項目	事業費
歳出	1	基本設計	10,800
	2	実施設計	30,996
	3	地質調査	1,926
	4	構造計算適合性判定	180
	5	施工管理	12,009
	6	展示物下地等造作工事	65,010
	7	展示物制作・空間演出工事	149,635
	8	大規模改修工事	207,439
	9	大規模改修電気工事	27,043
	10	大規模改修機械設備工事	26,451
計			531,489

(7) 館内図



### 3 歴史博物館の役割

#### （1）上越市立歴史博物館条例（抄出）

##### （設置）

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、市民の教育、学術及び文化の向上を図るため、歴史博物館を設置する。

##### （事業）

第3条 上越市立歴史博物館(以下「歴史博物館」という。)は、第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1）郷土を主とした歴史、民俗、考古、スキー等に関する資料(以下「資料」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- （2）資料の調査研究に関すること。
- （3）資料の利用についての必要な説明、助言、指導等に関すること。
- （4）資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- （5）資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- （6）その他目的達成に必要な事業

#### （2）理念と機能

##### ① 3つの理念

###### ア. 市民が地域の歴史を学ぶ場

調査研究機能を強化し、市民の歴史への関心にこたえる場となる。

###### イ. 市民と地域を結ぶ場

博物館から城下町への回遊、市内各博物館等施設や史跡等への誘いの出発地となる。

###### ウ. 歴史を生かした町づくりを担う次世代育成の場

常設展示等により、地域の子供たちが郷土への理解と愛着を育む場となる。

##### ② 2つの機能

###### ア. 教育普及機能

常設展示、企画展示等の開催、歴史講座、出前講座・史料購読講座、講演会等の開催、小中学校の見学対応、市民のレファレンスへの対応等によって地域への還元を図る。

###### イ. 調査研究機能

調査研究、収集、保存管理、研究論文の執筆、及び研究紀要、資料集、資料目録等の刊行等の事業によって地域史研究の蓄積を図る。

## 4 収蔵資料の概要

### (1) 歴史資料 約 1,000 点

台帳無し（今後寄贈台帳との突合及び資料台帳の整備が必要）

※近世の美術資料及び楊洲周延の肉筆・錦絵資料等を含む

### (2) 民俗資料

平成 18 年度から令和 2 年度まで、民俗資料整理事業として旧市及び合併前各町村が収集した民俗資料の再台帳化・データベース化作業、及び収蔵施設の統合を実施した。

旧収蔵施設	現収蔵施設	移動年度	点数
総合博物館（本城収蔵庫含む）	岡沢拠点収蔵施設	H28	10,549 点
安塚歴史民俗資料館	岡沢拠点収蔵施設	H28	2,656 点
浦川原まなびいハウス	岡沢拠点収蔵施設	H26	524 点
大山広場民俗資料室	岡沢拠点収蔵施設	H30	382 点
牧歴史民俗資料館	牧歴史民俗資料館	—	1,160 点
旭地域生涯学習センター	黒岩拠点収蔵施設	H24	63 点
下牧多目的センター	岡沢拠点収蔵施設	H26	190 点
大潟区	黒岩拠点収蔵施設	H22	1,252 点
希望館	希望館倉庫	—	776 点
源地域生涯学習センター	岡沢拠点収蔵施設	H25	706 点
片貝縄文資料館	岡沢拠点収蔵施設	H24	194 点
板倉郷土館	岡沢拠点収蔵施設	H25	821 点
清里歴史民俗資料館	岡沢拠点収蔵施設	H28	315 点
米と酒の謎蔵	岡沢拠点収蔵施設	H30	916 点
下名立地域生涯学習センター	岡沢拠点収蔵施設	H29	7,454 点
合計			27,958 点

※平成 28 年度以降の寄贈資料について未台帳化、約 1,800 点

### (3) 委託資料

- ① 榊原家史料（新潟県指定文化財） 1,724 点  
大名榊原家の史料群で、『高田藩 榊原家史料目録・研究』（上越市立総合博物館、2009 年）に収録されている。一部、榊神社雙輪館収蔵の史料がある。
- ② 府中八幡宮資料 101 点  
鰯口（新潟県指定文化財）・府中八幡宮文書（上越市指定文化財）94 点を含む。
- ③ 顕法寺資料（上越市指定文化財） 3 件
- ④ 伊達政宗書状（上越市指定文化財「本誓寺文書」のうち） 2 通 1 巻
- ⑤ 太刀 銘 助宗（密蔵院所蔵、新潟県指定文化財） 1 点

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| ⑥吉川区神田町町内会         | 3点  |
| ⑦菅原神社文書（上越市指定文化財）  | 12点 |
| ⑧御所参内・聚楽第行幸図屏風     | 1点  |
| ⑨火縄銃（越後高田住野々山源助義春） | 1点  |

## 5 利用者数

令和2年度 上半期（4月～9月）入館者数 （単位：人）

	4月※	5月※	6月	7月	8月	9月	上半期計
開館日数	16日	19日	25日	29日	29日	26日	144日
総入館者数	5,652	1,256	2,725	6,248	5,314	3,729	24,924
展示観覧者数	424	191	434	1,365	1,521	1,210	5,145
有料観覧	360	167	358	1,207	1,366	1,064	4,522
無料観覧	64	24	76	158	155	146	623
無料スペース利用者	5,228	1,065	2,291	4,883	3,793	2,519	19,779

※新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のため、4/19～5/10まで臨時休館、5/11臨時開館

令和2年度 下半期（10月～3月）入館者数 （単位：人）

	10月	11月	12月	1月※	2月	3月	下半期計	年間合計
開館日数	27日	24日	24日	11日	22日	26日	134日	278日
総入館者数	5,667	4,834	2,185	785	3,298	3,865	20,634	45,558
展示観覧者数	1,880	1,511	428	319	1,654	746	6,538	11,683
有料観覧	1,464	1,005	229	111	441	540	3,790	8,312
無料観覧	416	506	199	208	1,213	206	2,748	3,371
無料スペース利用者	3,787	3,323	1,757	466	1,644	3,119	14,096	33,875

※大雪のため1/9～1/17、1/21～1/27まで臨時休館



## 6 上越市博物館協議会

令和2年度の委員（任期2年）

①任 期 令和元年7月1日～令和3年6月30日

②委 員

分類	役職名	氏名	選出区分等
歴史博物館部会	委員長・部会長	川村 知行	学識経験者
	副部会長	清沢 聡	家庭教育の向上に資する活動を行う者
	委 員	浅倉 有子	学識経験者
	委 員	斎藤 良人	社会教育の関係者
	委 員	増田小夜子	市民公募に応じた者
水族博物館部会	副委員長・部会長	天野 和孝	学識経験者
	副部会長	関谷 伸一	学識経験者
	委 員	松野 玲子	学校教育の関係者
	委 員	大山 賢一	学校教育の関係者
	委 員	岩井 文弘	市民公募に応じた者

③活動記録

○令和2年度 第1回（令和2年8月6日 午後1時30分～）

会場：上越市立歴史博物館 講堂

- ・開館2年目及び令和元年度事業の成果について
- ・令和3年度の事業計画（案）について

○令和2年度 第2回（令和3年3月23日）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議を実施

- ・令和3年度事業計画（案）について
- ・民俗資料整理作業の成果と課題について